

学校トイレの環境衛生と児童の健康な 排泄に関するヘルスプロモーション

課題番号 13672440

平成13・14年度科学研究費補助金
基盤研究(C)(2)研究成果報告書

平成15年3月

研究代表者 松浦和代
(旭川医科大学医学部看護学科)

は し が き

児童の排泄習慣と学校トイレットの環境衛生についての関心は、この領域の論文数が極めて少ないことから察せられるように健康問題としての位置づけが低く、学術的に論じられる機会を得なかった。

わが国の学校トイレットの衛生水準の低さと、児童が学校では排泄を抑制するという不健康な実態は、長く問題視されながらも、社会的介入の指針が検討されないまま今日に至ったのが実状と思われる。

生活習慣は、個人の責任だけで形成されるものではなく、社会環境からも大きな影響を受けるといわれている。私達は、児童が学校で排泄を抑制するという実態についても、単なる個人の問題としてではなく、学校トイレットという環境との関連性から検討すべきではないかと考えた。またこの問題は、身体的・生理学的側面だけでなく、心理的・社会的側面からも分析を行う必要があると考えた。

本研究は、児童の学校トイレットにおける排泄の実態と学校トイレットの環境問題とを客観的にとらえることを目的とした。そして個人と環境とを統合して介入するスクール・ヘルスプロモーションの観点から問題の解決策を考察した。

さらに研究成果を地域に還元することを意図して、問題解決を低予算で取り組むことを念頭においた。これは、わが国の深刻な学校トイレット問題の解決に、具体的かつ実践的な方略を提示したいと考えたからである。

2年間にわたる本研究の実施におきましては、全国の小学校の教員、児童と保護者の皆様にご協力を戴きました。また、旭川市教育委員会施設課の皆様には、多大なるご理解とご支援を戴きました。

研究結果をここにご報告し、深く感謝申し上げます。

平成15年3月31日

旭川医科大学医学部看護学科

松浦 和代

北海道教育大学教育学部旭川校

芝木美沙子

平成13・14年度科学研究費補助金基盤研究（C）（2）研究成果報告書

I 課題番号 13672440

II 研究課題 学校トイレの環境衛生と児童の健康な排泄に関するヘルスプロモーション

III 研究組織

研究代表者	松浦 和代（旭川医科大学医学部看護学科 教授）
研究分担者	芝木美沙子（北海道教育大学教育学部旭川校 助教授）
	上野 栄一（旭川医科大学医学部看護学科 助教授）
	山内 学（旭川医科大学医学部看護学科 助手）
研究協力者	笹嶋 由美（北海道教育大学教育学部旭川校 教授）
	安部 奈生（北海道教育大学附属旭川小学校 養護教諭）
	國本 正雄（くにもと病院 院長）

IV 研究経費

平成13年度	1,900千円
平成14年度	800千円
計	2,700千円

V 研究発表

学会誌等

- 1) 松浦和代, 芝木美沙子. 旭川市における小学校トイレットの環境調査. 小児保健研究 2001; 60 (6): 803-808.
- 2) 芝木美沙子, 松浦和代, 安部奈生, 笹嶋由美. 旭川市の小学校における排泄の失敗事例に関する調査. 北海道教育大学紀要 (教育科学編) 2003; 54 (1): (予定).

口頭発表

- 1) 芝木美沙子, 松浦和代. 学校トイレ環境に対する中学生の意識調査. 第49回日本学校保健学会 札幌市. 2002

目 次

はしがき

第1章 児童の排泄に関する意識調査（第1報）	1頁
－児童を対象とした調査－	
第2章 児童の排泄に関する意識調査（第2報）	11頁
－保護者を対象とした調査－	
第3章 旭川市の小学校における小学校トイレットの環境調査	21頁
第4章 旭川市の小学校における排泄の失敗事例に関する調査	37頁
第5章 学校トイレット特別清掃に対する中学生の意識調査	45頁
資 料	
「児童の排泄に関する意識調査」調査票	53頁

第 1 章

児童の排泄に関する意識調査（第 1 報）

－児童を対象とした調査－

第1章 児童の排泄に関する意識調査（第1報）

－児童を対象とした調査－

松浦 和代（旭川医科大学医学部看護学科）

芝木 美沙子（北海道教育大学教育学部旭川校看護学教室）

國本 正雄（くにもと病院 院長）

I. はじめに

排泄は、児童の日常生活における主な健康管理指標のひとつである。日々支障のない排泄は、小児の身体面のみならず、精神衛生面にも大きな影響を与えている。

筆者らは、児童・生徒の便通と学校トイレの問題に着目し、北海道において継続的な調査を実施してきた（國本 1996、松浦 1999、松浦 1999）。その結果、現代の児童・生徒の排泄習慣や行動には変調が認められ、殊に女子では、小学校高学年より便秘傾向が明確となり、中学では便秘に伴う肛門症状も顕在化していることを報告した。

本研究は、全国調査によって、児童の学校生活における排泄の実態と学校トイレに関する意識を把握し、問題点を明らかにすることを目的とした。

本稿では、児童の排泄に関する意識調査の第1報として、児童を対象とした結果について報告する。

II. 研究方法

1. 対象

調査対象は、校舎建築後10年以上を経過した小学校に在籍する児童とその保護者とした。

2. 方法

方法は無記名自記式法による調査とした。児童用調査票・保護者用調査票・回収用糊付き封筒を1セット/人とした。

児童を対象とする調査内容は、①排尿と排便の回数、②学校での排泄、③学校トイレ環境に関する意識についての項目から構成した。回答は主に多肢選択式とした。

配布と回収は各学校長を通して学級担任に依頼した。調査票は児童が自宅へ持ち帰り、質問文について不明な点は保護者と相談しながら自宅で記入するよう依頼した。記入後の調査票は回収用糊付き封筒に入れられ、学級担任へ提出された。

3. 倫理的配慮

研究参加に関する施設の同意は学校長から口頭で得た。対象者に対する倫理的配慮として、保護者用調査票の冒頭に、回答は全て統計的に処理されプライバシーは厳重に保護されることを説明した。

4. 分析方法

統計学的有意差の検定には χ^2 乗検定を用いた。

Ⅲ. 結 果

調査期間は2002年3月であった。

研究協力の得られた小学校は、北海道旭川市内2校、青森県むつ市内1校、秋田県大曲市内1校、富山県滑川市内1校、千葉県市川市内1校、および奈良県磯城郡内1校の計7校であった。

7校の合計児童数は2,901名であり、全数に配布した。2,454名より回答が得られた。回収率は84.6%であった。

1. 基本的属性

対象者の内訳は表1の通りであった。

男子は1,257名(51.2%)、女子は1,192名(48.6%)であった。

学年の内訳は、1年生422名(17.2%)、2年生476名(19.5%)、3年生397名(16.2%)、4年生371名(15.1%)、5年生426名(17.4%)、6年生359名(14.6%)であった。

2. 自宅のトイレット

自宅のトイレットは、洋式89.9%、和式5.7%、両3.5%、無回答が0.2%であった。

3. 排便

1) 排便回数

排便回数は表2に示す通りであった。

「1日1回」が53.3%で最も多く、ついで「2日に1回」が28.4%であった。「1日に2回以上」は8.0%であった。

排便回数が「1日1回」の割合は、男子58.3%に対して、女子では48.3%と有意に低かった($P<0.001$)。

2) 排便時刻

排便時刻は重複回答で、「決まっていない」が最も多く39.9%を占めた(表3)。「朝、家で」が26.8%、「学校から帰って」が26.4%とほぼ同じ割合であった。また「夜、ご飯の後で」が12.5%を占めた。

排便時刻を背別で比較すると、男子は「朝、家で」(「学校から帰って」の割合が高く、女子は「学校で」「決まっていない」の割合が高かった(各 $P<0.001$)。

3) 便性の自己評価

「快便」は71.8%、「便秘・やや便秘」は16.2%、「下痢・やや下痢」は9.7%であった(表4)。便性の自己評価を男女別に比較すると、女子は「便秘・やや便秘」の割合が高く、有意な差が認められた($P<0.001$)。

4) 排便時の痛み

排便時に肛門の痛みを感じる頻度について、「いつも」と回答したものは1.5%、「時々」が46.4%、「ない」が51%であった(表5)。女子は、男子に比べて、「いつも・時々」の割合が高

く、有意な差があった (P<0.01)。

5) 学校での排便

学校で排便をする児童の割合は、「する・時々する」が 35.6%、「あまりしない・しない」が 63.3%であった (表 6)。

学校での排便を男女で比較すると、男子は「あまりしない・しない」の割合が高く、有意な差があった (P<0.01)。

6) 学校での排便抑制

学校で排便を我慢することが「ある・時々ある」と回答した児童は 38%であった (表 7)。特に男子は学校で排便を抑制する傾向が強く、女子に比較して有意な差があった (P<0.01)。

7) 学校で排便を我慢する理由

学校で排便を我慢することが「ある・時々ある」と回答した児童 (n=932) に学校での排便を我慢する理由をたずねた (表 8)。主な回答は「はずかしい」「臭い・汚い」「落ちつかない」であり、それぞれ 30%台を占めた (表 8)。

これを男女で比較すると、男子に多い回答は「ひやかされそう・いじめられそう」(P<0.001)、「あそびでいそがしい」(P<0.01)であった。

女子に有意に多かった回答は、「こわい感じ」(P<0.001)、「人が多い」(P<0.001)、「水の流が悪い」(P<0.001)、「暗い」(P<0.05)であった。

2. 排尿

1) 排尿回数

1日の平均排尿回数は、 5.5 ± 2.0 回/日であった。学校での平均排尿回数は、 2.2 ± 1.2 回/日であった。

2) 学校での排尿時刻

学校での排尿時刻は重複回答で、「2時間目と 3時間目」が 48.2%、「昼休み」が 63.1%にピークがあった (表 9)。この傾向は、女子で顕著に認められた。

3) 学校での排尿抑制

学校で排尿を我慢することが「ある・時々ある」と回答した児童は 33.4%であった。女子はこの割合が高く (39.8%)、男子との比較において有意な差があった (P<0.01)。

4) 学校で排尿を我慢する理由

学校で排尿を我慢することが「ある・時々ある」と回答した児童 (n=820) に対して、学校で排尿を我慢する理由を質問した結果は表 11 の通りであった。主な理由は、「あそびでいそがしい」「臭い・汚い」「休み時間が短い」であり、それぞれ 20%台を占めた。

男女差がみられた項目のうち、男子に顕著な理由は「あそびでいそがしい」であった (P<0.01)。女子は、「臭い・汚い」(P<0.01)、「落ちつかない」(P<0.05)、「こわい感じ」(P<0.001)、「はずか

しい」(P<0.01)、「暗い」(P<0.05)、「ドアや鍵の破損」(P<0.001)を学校での排尿抑制の理由としていた。

3. 排泄のマナー

トイレット使用のマナーについては、重複回答で多い順に、「つかった後は水を流す」86.4%、「トイレットペーパーを散らかさない」62.2%、「冷やかしたり、からかったりしない」58.1%、「トイレを出るとき確かめる」50.1%、「(便器を)汚したらさっと拭く」34.4%であった。これら5項目については女子は男子に比較し有意な差があった(表12)。

IV. 考 察

健康な小児の排泄に関する国内の研究は、主に排便回数と便秘に焦点がおかれている。排尿については、先行研究を見出すことができなかった。

1. 排便について

健康な小児の排便回数に関して、天野ら¹⁾は8-14歳未満では「1日1回」が63.2%と報告している。児童に関しては、要ら²⁾は「1日1回」が66.6%、國本ら³⁾による1996年の調査では53.0%と報告されている。

今回、全国的な調査を行った結果、児童の排便回数は「1日1回」が最も多く53.3%、「2日に1回」が28.4%であり、國本らとほぼ同様の結果であった。また対象児童のおよそ7割が「快便」と自己評価していることが把握された。

小児の便秘は、排便回数が少なく、排便困難を伴う場合と定義されている⁴⁻⁷⁾。だが、厚生省の国民生活基礎調査⁸⁾では、便秘を消化器系の自覚症状のひとつとして広義に解釈し、その有訴者数を調査している。本研究においても、便秘を日常的な愁訴もしくは不快症状のひとつとして扱った。

便秘傾向についての報告は、厚生労働省の国民生活基礎調査が最も大規模なものである。平成10年国民生活基礎調査⁹⁾によれば、5-14歳階級の便秘の有訴者率は44(人口千対)となっている。これに比較すると、深井らによる1992年¹⁰⁾の報告では小学生の「便秘傾向」の割合は12.7%、國本らによる1996年の報告³⁾では12.9%であり、非常に高い値を示している。本結果の「便秘・やや便秘」を「便秘傾向」と解釈して先行研究に比較すると、その割合は16.2%とさらに高い。こうした数値の推移は、過去10年間に便秘傾向を自覚する児童の割合が増加していることを示しており、食生活を含む日常生活全般の変貌に伴う変化ではないかと推察される。

排便に関する女子の問題点を総括すると、排便回数が少ないこと、「便秘傾向」の割合が高いこと、排便時刻が決まっていないこと、排便時の肛門の痛みも顕在化していることがあげられる。また学校トイレットの使用について、女子は、「こわい」という気持ちが強いことが特徴的である。水流の弱さや照度の不足といった施設管理上の問題点を指摘しているのも女子であった。

一方、男子は、女子に比較して、学校での排便については「しない・あまりしない」ものの割合が高いこと、学校での排便を我慢するものの割合が高いことが特徴的である。その理由として、男子にとって学校での排便は、「ひやかされそう・いじめられそう」という気持ちが非常

に強いことが示唆された。

2. 排尿について

児童の学校における排尿回数は平均2回であった。排尿時刻は、「2時間目と3時間目」の長休みと「昼休み」に2つのピークがあった。

排便とは対照的に、男子は学校での排尿にほとんど問題を感じていない。排尿時刻をみても、男子では長い休み時間に排尿に行くものは多いが、短い休み時間にもトイレットを利用しているものの割合は高い。

これに対して、女子は学校で排尿を抑制する傾向が強く認められ、その理由も多様であることが把握された。

3. 排泄のマナーについて

学校トイレットは、短時間内に多くの児童が使用するため、共有について個々人のマナーが求められる。学校トイレットにおけるマナーに関しては、全般的な傾向として、女子の意識が高いことが把握された。

文 献

- 1) 天野信一他. 小児の排便について. 三重看護 1984; 5. 31-34.
- 2) 要匡他. 学童の排便に関する調査. 小児保健研究 1989; 48. 461-464.
- 3) 國本正雄他. 小学生の便通とトイレに関する意識調査. 日本医事新報 1996; 3781. 49-51.
- 4) 野末富雄, 小林昭夫. 便秘. 小児内科 1992; 24. 249-251.
- 5) 尾上昌弘. 習慣性便秘. 小児内科 1997; 29. 145-147.
- 6) 小野栄一郎. 便秘. 小児内科 1993; 25. 285-287.
- 7) 篠原公一, 山城雄一郎. 便秘をしやすい子. 小児科 1995; 36. 353-357.
- 8) 厚生省大臣官房統計情報部(編). 国民生活基礎調査第4巻. 厚生統計協会 1999; 106-130.
- 9) 日本子ども家庭総合研究所(編). 日本子ども資料年鑑 2001. KTC 中央出版 2001; 130.
- 10) 深井喜代子他. 日本語版便秘評価尺度による小学生の便秘評価. 日本看護研究学会雑誌 1997; 20. 57-62.

表1 対象者

	全 体 n=2454	性 別	
		男 子 n=1257	女 子 n=1192
1 年 生	422(17.2)	223(17.7)	197(16.5)
2 年 生	479(19.5)	243(19.3)	236(19.8)
3 年 生	397(16.2)	207(16.5)	188(15.8)
4 年 生	371(15.1)	184(14.6)	186(15.6)
5 年 生	426(17.4)	224(17.8)	202(16.9)
6 年 生	359(14.6)	176(14.0)	183(15.4)

表2 排便回数

名 (%)

	全 体 n=2454	性 別		検定	学 年 別						
		男 子 n=1257	女 子 n=1192		1 年 生 n=422	2 年 生 n=479	3 年 生 n=397	4 年 生 n=371	5 年 生 n=426	6 年 生 n=359	検定 1~3年×4~6年
1日に1回	1309 (53.3)	733 (58.3)	576 (48.3)	***	228 (54.0)	270 (56.4)	200 (50.4)	196 (52.8)	217 (50.9)	198 (55.2)	
1日に2回以上	196 (8.0)	118 (9.4)	77 (6.5)		35 (8.3)	39 (8.1)	29 (7.3)	31 (8.4)	33 (7.7)	29 (8.1)	
2日に1回	696 (28.4)	292 (23.2)	402 (33.7)		125 (29.6)	126 (26.3)	115 (29.0)	104 (28.0)	130 (30.5)	96 (26.7)	
3日に1回	171 (7.0)	71 (5.6)	100 (8.4)		21 (5.0)	30 (6.3)	33 (8.3)	27 (7.3)	33 (7.7)	27 (7.5)	
4日に1回	40 (1.6)	17 (1.4)	23 (1.9)		5 (1.2)	7 (1.5)	7 (1.8)	6 (1.6)	9 (2.1)	6 (1.7)	
無 回 答	42 (1.7)	26 (2.1)	14 (1.2)		8 (1.9)	7 (1.5)	13 (3.3)	7 (1.9)	4 (0.9)	3 (0.8)	

(* P < 0.05 ** P < 0.01 *** P < 0.001)

表3 排便時刻

名 (%)

	全 体 n=2454	性 別		検定	学 年 別						
		男 子 n=1257	女 子 n=1192		1 年 生 n=422	2 年 生 n=479	3 年 生 n=397	4 年 生 n=371	5 年 生 n=426	6 年 生 n=359	検定 1~3年×4~6年
朝、家で	657 (26.8)	423 (33.7)	234 (19.6)	***	111 (26.3)	125 (26.1)	105 (26.4)	105 (28.3)	117 (27.5)	94 (26.2)	
学校で	104 (4.2)	35 (2.8)	69 (5.8)	***	25 (5.9)	38 (7.9)	19 (4.8)	6 (1.6)	12 (2.8)	4 (1.1)	***
学校から帰って	649 (26.4)	386 (30.7)	261 (21.9)	***	129 (30.6)	142 (29.6)	105 (26.4)	88 (23.7)	100 (23.5)	85 (23.7)	**
夕食の後に	306 (12.5)	156 (12.4)	150 (12.6)		60 (14.2)	52 (10.9)	63 (15.9)	44 (11.9)	44 (10.3)	43 (12.0)	
決まっていない	979 (39.9)	407 (32.4)	571 (47.9)	***	141 (33.4)	172 (35.9)	147 (37.0)	166 (44.7)	194 (45.5)	159 (44.3)	***
無 回 答	24 (1.0)	16 (1.3)	6 (0.5)		5 (1.2)	2 (0.4)	7 (1.8)	6 (1.6)	1 (0.2)	3 (0.8)	

(* P < 0.05 ** P < 0.01 *** P < 0.001)

表4 便性の自己評価

名 (%)

	全体 n=2454	性別		検定	学年別						検定 1~3年×4~6年
		男子 n=1257	女子 n=1192		1年生 n=422	2年生 n=479	3年生 n=397	4年生 n=371	5年生 n=426	6年生 n=359	
下痢	59 (2.4)	32 (2.5)	27 (2.3)	***	12 (2.8)	9 (1.9)	5 (1.3)	12 (3.2)	8 (1.9)	13 (3.6)	
やや下痢	180 (7.3)	100 (8.0)	79 (6.6)		30 (7.1)	41 (8.6)	20 (5.0)	28 (7.5)	35 (8.2)	26 (7.2)	
快便	1763 (71.8)	951 (75.7)	811 (68.0)		287 (68.0)	349 (72.9)	300 (75.6)	265 (71.4)	313 (73.5)	249 (69.4)	
やや便秘	296 (12.1)	114 (9.1)	181 (15.2)		64 (15.2)	52 (10.9)	44 (11.1)	43 (11.6)	50 (11.7)	43 (12.0)	
便秘	101 (4.1)	30 (2.4)	71 (6.0)		19 (4.5)	22 (4.6)	14 (3.5)	16 (4.3)	15 (3.5)	15 (4.2)	
下痢・便秘	20 (0.8)	12 (1.0)	8 (0.7)		1 (0.2)	4 (0.8)	4 (1.0)	1 (0.3)	3 (0.7)	7 (1.9)	
無回答	35 (1.4)	18 (1.4)	15 (1.3)		9 (2.1)	2 (0.4)	10 (2.5)	6 (1.6)	2 (0.5)	6 (1.7)	

(* P < 0.05 ** P < 0.01 *** P < 0.001)

表5 排便時の痛み

名 (%)

	全体 n=2454	性別		検定	学年別						検定 1~3年×4~6年
		男子 n=1257	女子 n=1192		1年生 n=422	2年生 n=479	3年生 n=397	4年生 n=371	5年生 n=426	6年生 n=359	
いつも痛い	36 (1.5)	14 (1.1)	22 (1.8)	***	13 (3.1)	7 (1.5)	8 (2.0)	4 (1.1)	2 (0.5)	2 (0.6)	**
時々痛い	1139 (46.4)	543 (43.2)	595 (49.9)		184 (43.6)	243 (50.7)	184 (46.3)	182 (49.1)	195 (45.8)	151 (42.1)	
痛くない	1251 (51.0)	684 (54.4)	565 (47.4)		215 (50.9)	227 (47.4)	197 (49.6)	180 (48.5)	228 (53.5)	204 (56.8)	
無回答	28 (1.1)	16 (1.3)	10 (0.8)	10 (2.4)	2 (0.4)	8 (2.0)	5 (1.3)	1 (0.2)	2 (0.6)		

(* P < 0.05 ** P < 0.01 *** P < 0.001)

表6 学校での排便

名 (%)

	全体 n=2454	性別		検定	学年別						検定 1~3年×4~6年
		男子 n=1257	女子 n=1192		1年生 n=422	2年生 n=479	3年生 n=397	4年生 n=371	5年生 n=426	6年生 n=359	
する	204 (8.3)	81 (6.4)	123 (10.3)	***	49 (11.6)	58 (12.1)	25 (6.3)	28 (7.5)	26 (6.1)	18 (5.0)	***
時々する	669 (27.3)	314 (25.0)	353 (29.6)		148 (35.1)	151 (31.5)	114 (28.7)	87 (23.5)	101 (23.7)	68 (18.9)	
あまりしない	634 (25.8)	300 (23.9)	334 (28.0)		75 (17.8)	108 (22.5)	106 (26.7)	108 (29.1)	125 (29.3)	112 (31.2)	
しない	920 (37.5)	547 (43.5)	372 (31.2)		143 (33.9)	160 (33.4)	146 (36.8)	143 (38.5)	170 (39.9)	158 (44.0)	
無回答	27 (1.1)	15 (1.2)	10 (0.8)	7 (1.7)	2 (0.4)	6 (1.5)	5 (1.3)	4 (0.9)	3 (0.8)		

(* P < 0.05 ** P < 0.01 *** P < 0.001)

表7 学校で排便抑制

名 (%)

	全 体 n=2454	性 別		検 定	学 年 別						検 定 1~3年×4~6年
		男 子 n=1257	女 子 n=1192		1 年 生 n=422	2 年 生 n=479	3 年 生 n=397	4 年 生 n=371	5 年 生 n=426	6 年 生 n=359	
あ る	319 (13.0)	224 (17.8)	95 (8.0)	***	43 (10.2)	50 (10.4)	46 (11.6)	47 (12.7)	67 (15.7)	66 (18.4)	***
時々ある	613 (25.0)	331 (26.3)	280 (23.5)		86 (20.4)	114 (23.8)	89 (22.4)	105 (28.3)	130 (30.5)	89 (24.8)	
な い	1492 (60.8)	684 (54.4)	807 (67.7)		286 (67.8)	313 (65.3)	253 (63.7)	213 (57.4)	227 (53.3)	200 (55.7)	
無 回 答	29 (1.2)	18 (1.4)	9 (0.8)		7 (1.7)	2 (0.4)	8 (2.0)	6 (1.6)	2 (0.5)	4 (1.1)	

(* P < 0.05 ** P < 0.01 *** P < 0.001)

表8 学校で排便を我慢する理由

名 (%)

	全 体 n=2454	性 別		検 定	学 年 別						検 定 1~3年×4~6年
		男 子 n=1257	女 子 n=1192		1 年 生 n=422	2 年 生 n=479	3 年 生 n=397	4 年 生 n=371	5 年 生 n=426	6 年 生 n=359	
はずかしい	350 (37.6)	207 (37.3)	142 (37.9)		29 (22.5)	50 (30.5)	53 (39.3)	58 (38.2)	87 (44.2)	73 (47.1)	***
臭い・汚い	310 (33.3)	176 (31.7)	134 (35.7)		28 (21.7)	44 (26.8)	42 (31.1)	72 (47.4)	60 (30.5)	64 (41.3)	***
落ちつかない	302 (32.4)	189 (34.1)	113 (30.1)		24 (18.6)	52 (31.7)	38 (28.1)	53 (34.9)	72 (36.5)	63 (40.6)	***
ひやかされそう いじめられそう	174 (18.7)	126 (22.7)	48 (12.8)	***	14 (10.9)	20 (12.2)	24 (17.8)	26 (17.1)	52 (26.4)	38 (24.5)	***
あそびで いそがしい	172 (18.5)	120 (21.6)	51 (13.6)	**	36 (27.9)	29 (17.7)	26 (19.3)	18 (11.8)	33 (16.8)	30 (19.4)	*
休み時間が短い	154 (16.5)	87 (15.7)	67 (17.9)		13 (10.1)	27 (16.5)	26 (19.3)	27 (17.8)	35 (17.8)	26 (16.8)	
こわいかんじ おそろしいかんじ	126 (13.5)	52 (9.4)	74 (19.7)	***	29 (22.5)	24 (14.6)	16 (11.9)	26 (17.1)	14 (7.1)	17 (11.0)	*
人が多い	96 (10.3)	42 (7.6)	54 (14.4)	***	7 (5.4)	11 (6.7)	11 (8.1)	16 (10.5)	30 (15.2)	21 (13.5)	**
暗 い	82 (8.8)	39 (7.0)	43 (11.5)	*	8 (6.2)	14 (8.5)	8 (5.9)	21 (13.8)	17 (8.6)	14 (9.0)	
ドアや鍵の破損	82 (8.8)	51 (9.2)	31 (8.3)		9 (7.0)	17 (10.4)	10 (7.4)	18 (11.8)	19 (9.6)	9 (5.8)	
水の流れが悪い	77 (8.3)	35 (6.3)	42 (11.2)	***	6 (4.7)	6 (3.7)	9 (6.7)	23 (15.1)	19 (9.6)	14 (9.0)	***
その他	125 (13.4)	57 (10.3)	68 (18.1)	***	21 (16.3)	28 (17.1)	12 (8.9)	24 (15.8)	43 (21.8)	22 (14.2)	

(* P < 0.05 ** P < 0.01 *** P < 0.001)

表9 学校での排尿時刻

名 (%)

	全体 n=2454	性別		検定	学年別						検定 1~3年×4~6年
		男子 n=1257	女子 n=1192		1年生 n=422	2年生 n=479	3年生 n=397	4年生 n=371	5年生 n=426	6年生 n=359	
1時間目の前	295 (12.0)	181 (14.4)	114 (9.6)	***	54 (12.8)	78 (16.3)	51 (12.8)	41 (11.1)	39 (9.2)	32 (8.9)	***
1時間目と 2時間目の間	509 (20.7)	330 (26.3)	177 (14.8)	***	120 (28.4)	142 (29.6)	86 (21.7)	59 (15.9)	60 (14.1)	42 (11.7)	***
2時間目と 3時間目の間	1182 (48.2)	634 (50.4)	548 (46.0)	*	204 (48.3)	230 (48.0)	199 (50.1)	179 (48.2)	211 (49.5)	159 (44.3)	
3時間目と 4時間目の間	441 (18.0)	289 (23.0)	151 (12.7)	***	89 (21.1)	104 (21.7)	82 (20.7)	58 (15.6)	69 (16.2)	39 (10.9)	***
昼休み	1549 (63.1)	771 (61.3)	775 (65.0)		279 (66.1)	249 (52.0)	249 (62.7)	234 (63.1)	307 (72.1)	231 (64.3)	***
5時間目と 6時間目の間	153 (6.2)	101 (8.0)	52 (4.4)	***	12 (2.8)	20 (4.2)	35 (8.8)	32 (8.6)	29 (6.8)	25 (7.0)	*
放課後	840 (34.2)	388 (30.9)	452 (37.9)	***	136 (32.2)	197 (41.1)	153 (38.5)	133 (35.8)	119 (27.9)	102 (28.4)	***
無回答	79 (3.2)	42 (3.3)	35 (2.9)		14 (3.3)	15 (3.1)	13 (3.3)	13 (3.5)	12 (2.8)	12 (3.3)	

(* P < 0.05 ** P < 0.01 *** P < 0.001)

表10 学校で排尿抑制

名 (%)

	全体 n=2454	性別		検定	学年別						
		男子 n=1257	女子 n=1192		1年生 n=422	2年生 n=479	3年生 n=397	4年生 n=371	5年生 n=426	6年生 n=359	1~3年×4~6年
ある	231 (9.4)	97 (7.7)	133 (11.2)	***	46 (10.9)	51 (10.6)	24 (6.0)	38 (10.2)	33 (7.7)	39 (10.9)	
時々ある	589 (24.0)	248 (19.7)	341 (28.6)		91 (21.6)	123 (25.7)	83 (20.9)	109 (29.4)	105 (24.6)	78 (21.7)	
ない	1598 (65.1)	890 (70.8)	706 (59.2)		276 (65.4)	299 (62.4)	283 (71.3)	218 (58.8)	283 (66.4)	239 (66.6)	
無回答	36 (1.5)	18 (1.4)	12 (1.0)		9 (2.1)	6 (1.3)	7 (1.8)	6 (1.6)	5 (1.2)	3 (0.8)	

(* P < 0.05 ** P < 0.01 *** P < 0.001)

表 11 学校で排尿を我慢する理由

名 (%)

	全 体 n=2454	性 別		検 定	学 年 別						検 定 1~3年×4~6年
		男 子 n=1257	女 子 n=1192		1 年 生 n=422	2 年 生 n=479	3 年 生 n=397	4 年 生 n=371	5 年 生 n=426	6 年 生 n=359	
あそびで いそがしい	216 (26.3)	108 (31.3)	107 (22.6)	**	45 (32.8)	40 (23.0)	23 (21.5)	44 (29.9)	38 (27.5)	26 (22.2)	
臭い・汚い	204 (24.9)	69 (20.0)	135 (28.5)	**	26 (19.0)	44 (25.3)	22 (20.6)	42 (28.6)	35 (25.4)	35 (29.9)	
休み時間が短い	196 (23.9)	80 (23.2)	116 (24.5)		36 (26.3)	33 (19.0)	26 (24.3)	35 (23.8)	33 (23.9)	33 (28.2)	
落ちつかない	131 (16.0)	45 (13.0)	86 (18.1)	*	14 (10.2)	27 (15.5)	15 (14.0)	26 (17.7)	30 (21.7)	19 (16.2)	*
こわいかんじ おそろしいかんじ	98 (12.0)	18 (5.2)	79 (16.7)	***	29 (21.2)	23 (13.2)	13 (12.1)	15 (10.2)	10 (7.2)	8 (6.8)	**
はずかしい	70 (8.5)	17 (4.9)	53 (11.2)	**	14 (10.2)	11 (6.3)	4 (3.7)	6 (4.1)	18 (13.0)	17 (14.5)	
暗 い	59 (7.2)	16 (4.6)	43 (9.1)	*	7 (5.1)	10 (5.7)	6 (5.6)	18 (12.2)	7 (5.1)	11 (9.4)	
人が多い	57 (7.0)	17 (4.9)	40 (8.4)		8 (5.8)	7 (4.0)	5 (4.7)	8 (5.4)	13 (9.4)	16 (13.7)	*
ドアや鍵の破損	47 (5.7)	7 (2.0)	40 (8.4)	***	6 (4.4)	7 (4.0)	8 (7.5)	10 (6.8)	12 (8.7)	4 (3.4)	
水の流れが悪い	46 (5.6)	16 (4.6)	30 (6.3)		3 (2.2)	6 (3.4)	9 (8.4)	14 (9.5)	6 (4.3)	8 (6.8)	
ひやかされそう いじめられそう	19 (2.3)	9 (2.6)	10 (2.1)		3 (2.2)	4 (2.3)	1 (0.9)	2 (1.4)	5 (3.6)	4 (3.4)	
そ の 他	247 (30.1)	124 (35.9)	123 (25.9)		32 (23.4)	51 (29.3)	34 (31.8)	44 (29.9)	43 (31.2)	43 (36.8)	

(* P < 0.05 ** P < 0.01 *** P < 0.001)

表 12 排泄のマナー

名 (%)

	全 体 n=2454	性 別		検 定	学 年 別						検 定 1~3年×4~6年
		男 子 n=1257	女 子 n=1192		1 年 生 n=422	2 年 生 n=479	3 年 生 n=397	4 年 生 n=371	5 年 生 n=426	6 年 生 n=359	
つかった後は 水を流す	2121 (86.4)	1021 (81.2)	1098 (92.1)	***	356 (84.4)	386 (80.6)	352 (88.7)	334 (90.0)	356 (83.6)	337 (93.9)	*
トイレットペーパーを ちらかさない	1526 (62.2)	673 (53.5)	850 (71.3)	***	246 (58.3)	287 (59.9)	247 (62.2)	241 (65.0)	267 (62.7)	238 (66.3)	
ひやかしたり からかったりしない	1426 (58.1)	697 (55.4)	729 (61.2)	**	225 (53.3)	249 (52.0)	235 (59.2)	236 (63.6)	255 (59.9)	226 (63.0)	
トイレを出るとき 確かめる	1230 (50.1)	526 (41.8)	704 (59.1)	***	193 (45.7)	227 (47.4)	198 (49.9)	187 (50.4)	226 (53.1)	199 (55.4)	
汚したら さっとふく	844 (34.4)	341 (27.1)	503 (42.2)	***	113 (26.8)	142 (29.6)	137 (34.5)	126 (34.0)	174 (40.8)	152 (42.3)	**
そ の 他	62 (2.5)	29 (2.3)	33 (2.8)		9 (2.1)	16 (3.3)	8 (2.0)	9 (2.4)	10 (2.3)	10 (2.8)	
無 回 答	56 (2.3)	35 (2.8)	19 (1.6)		13 (3.1)	10 (2.1)	8 (2.0)	12 (3.2)	9 (2.1)	4 (1.1)	

(* P < 0.05 ** P < 0.01 *** P < 0.001)

第 2 章

児童の排泄に関する意識調査（第2報）

－保護者を対象とした調査－

第2章 児童の排泄に関する意識調査（第2報） －保護者を対象とした調査－

松浦和代（旭川医科大学医学部看護学科）

芝木美沙子（北海道教育大学教育学部旭川校看護学教室）

國本正雄（くにもと病院 院長）

I. はじめに

本研究の目的は、小学生を対象に排泄の実態と学校トイレットに関する全国調査を行い、その実態と問題点を明らかにすることであった。

本稿では、「児童の排泄に関する意識調査」の第2報として、保護者を対象とした調査結果についてまとめる。

II. 研究方法

第1報と同様に、調査方法は無記名自記式法とした。保護者を対象とした調査票の内容は、児童の①基本的な生活習慣、②排便習慣、③排泄に関連する疾患の既往、④下校時（帰宅時）のトイレットの使用状況、⑤学校での排泄の失敗をたずねた。また、⑥学校トイレットに関する保護者の意識を質問した。

回答は主に多肢選択式とした。

調査の手続き・倫理的配慮・分析方法については第1報に述べた通りである。

III. 結果

配布数、回収数・回収率、および有効回答数・有効回答率は、第1報の通りであった。

1. 基本的な生活習慣

児童の生活時間に関する保護者の回答は、表1の通りであった。

1) 起床時刻

児童の平均起床時刻は午前6時48分であった。

2) 登校時刻

児童の平均登校時刻は、午前7時43分であった。

3) 起床から登校までの時間

児童の起床から登校までの平均時間は、55.6 ± 18.2分であった。

4) 就寝時刻と夜更かし

児童の平均就寝時刻は、午後9時42分であった。

夜更かしについて、「よくする」8.8%、「時々する」42.8%、「ほとんどしない」39.9%、「まったくしない」7.7%、無回答が0.7%であった（表2）。

夜更かしについては、児童の性別による差はないが、4～6年生は1～3年生よりも夜更かしの割合が高かった（ $P<0.001$ ）。

5) 睡眠時間

児童の平均睡眠時間は9時間6分であった(表1)。

6) 朝食の摂取状況

朝食の摂取状況は、「毎日食べる」が92.6%、「時々食べる」が4.3%、「ほとんど食べない」が2.0%、「全く食べない」が0.2%、無回答が0.8%であった(表3)。

朝食の摂取状況について性差はなかったが、1～3年生に比較して4～6年生で摂取するものの割合が減少した($P<0.05$)。

2. 排便習慣

1) 排便回数

児童の排便回数について保護者の認識は、多い順に、「1日1回」が56.5%、「2日に1回」が25.7%であった(表4)。

2) 排便時刻

児童の排便時刻に関する保護者の回答(重複回答)は、「決まっていない」32.2%、「朝、家で」30%、「学校から帰って」28.8%がほぼ同じ割合であった。また「夕食後」が12.2%であった(表5)。

3) 便 通

児童の便性について保護者は、「快便」65.4%、「やや便秘・便秘」は20.3%、「やや下痢・下痢」は8.1%と評価していた。「下痢と便秘を繰り返す」は4.1%であった(表6)。

4) 排便に対する意識

保護者がみた児童の排便に対する意識は、「特に問題ない」が84.4%であった(表7)。「神経質・やや神経質」は11.2%であったが、この傾向は男子に顕著であった($P<0.05$)。

3. 排泄に関連する疾患の既往

排泄に関連する疾患の既往は、「ある」が4.8%、「ない」が94.1%であった。

4. 帰宅時のトイレット使用状況

児童が帰宅と同時にトイレットへ直行することが、「よくある」は29.2%、「時々ある」43.6%、「めったにない」2.1%であった(表8)。

帰宅時のトイレット使用状況については児童の性別による違いはなかった。低学年であるほど、帰宅後にトイレットへ直行することが「よくある」割合が高かった。だが、「時々ある」ものの割合は3年生・5年生・6年生で高かった。

5. 排泄の失敗時刻・場面

1) 過去1年間の排泄の失敗経験

過去1年間に、学校や登下校中に排泄を失敗した経験がある児童は、242名おり、全体の

9.9%を占めた。

242名の内訳は、1年生が23.0%、2年生が14.4%、3年生8.8%、4年生4.6%、5年生1.9%、6年生4.5%であった。

2) 失敗時刻

過去1年間に学校や登下校中に排泄を失敗した児童(n=242)に、失敗時刻を質問した(表9)。下校中が58.7%と最も多かった。授業中・休み時間中・登校中の失敗、及び行事の失敗は、主に1年生であった。

3) 排泄に関連した出来事と登校を嫌がること

児童が排泄に関連した出来事がきっかけで登校を嫌がったことが「ある」と回答した保護者は44名おり、全体の1.8%であった。

その内訳をみると、4年生から6年生は各々2%台となっており、低学年よりも高率であった。

6. 学校トイレに対する保護者の問題意識

1) 学校トイレの使用経験

学校トイレを使用した経験のある保護者は76.2%であった。

2) 学校トイレの印象

学校トイレを使用した経験のある保護者(n=1876)に、学校トイレの印象について質問した(重複回答、表10)。

最も多かった回答は、「暗い」50.6%であった。また、「臭い」「せまい」「落ちつかない」「きたない」が各々30%を占めた。

「水の流れが悪い」「ドア・鍵がこわれている」についても約10%から指摘があった。

IV. 考 察

平成12年度児童生徒の健康状態サーベイランス事業報告書¹⁾を参照すると、今回の調査で対象者となった児童は、起床時刻・就寝時刻・睡眠時間および朝食の摂取状況でごく近い値を示しており、基本的な生活習慣についてはわが国の標準的な集団であったことがわかる。

保護者によれば、対象となった児童の92.6%が朝食を毎日摂取している。朝食の摂取は胃結腸反射を引き起こし排便を誘発すると考えられているが、家で登校前に排便をするものの割合は、保護者の回答では30%、また児童自身の回答では27%²⁾と少ない。本調査では、起床から登校までの時間を求めたが、その平均時間は約55分間であった。約55分間に排尿、更衣、洗面、朝食を済ませると、排便までは落ちついて行えないのが実状ではないかと推察される。こうした状況を明確化するために、基本的な生活習慣と排泄回数・排便時刻・便通との関連性や、保護者と児童の結果の一致度については二次分析を行いたいと考えている。

さて、帰宅時のトイレ使用状況については、帰宅後トイレへ直行することが「よくある」児童の割合は、低学年であるほど高かった。他方、高学年でも「時々ある」の割合が高く、このことは学年が進むにつれて児童が学校トイレでの排便・排尿を避ける傾向と関連

しているのではないかと考えられる。

さらに、学校生活における排泄の失敗は約10%の児童にみられた。学年別に比較すると、当然のことながら、1年生の失敗が最も多い。しかしこれを時間帯別にみると、下校時の失敗が最も多い。5年生・6年生においても下校時の失敗は高い割合で起きている。

こうした問題の発生に、学校トイレットの衛生水準が大きな影響を与えていることは明らかである。学校トイレットの実態は、わが国の衛生水準に大きく立ち後れた感がある。児童の排泄の実態や変調に対処していくために、学校トイレットの物理的な環境整備を具体的に推進する必要がある。

文 献

1) 日本学校保健会(編). 平成12年度児童生徒の健康状態サーベイランス事業報告書. 日本学校保健会 2002;195-198.

2) 本報告書 3-12.

表1 生活時間

		全 体	1 年 生	2 年 生	3 年 生	4 年 生	5 年 生	6 年 生
起床時刻	男 子	6:48	6:46	6:47	6:49	6:50	6:45	6:56
	女 子	6:47	6:47	6:45	6:50	6:51	6:47	6:49
	計	6:48	6:46	6:46	6:50	6:51	6:46	6:52
登校時刻	男 子	7:44	7:43	7:42	7:46	7:45	7:43	7:46
	女 子	7:44	7:43	7:42	7:45	7:45	7:41	7:45
	計	7:44	7:43	7:42	7:45	7:45	7:42	7:46
登校までの時間	男 子	56分	57分	55分	57分	55分	59分	50分
	女 子	56分	56分	57分	55分	54分	55分	56分
	計	56分	57分	56分	56分	55分	57分	53分
就寝時刻	男 子	21:40	21:16	21:25	21:35	21:47	21:52	22:15
	女 子	21:44	21:18	21:25	21:39	21:52	22:04	22:13
	計	21:42	21:17	21:25	21:37	21:50	21:57	22:14
睡眠時間	男 子	9時間08分	9時間30分	9時間22分	9時間14分	9時間03分	8時間53分	8時間40分
	女 子	9時間04分	9時間29分	9時間20分	9時間11分	8時間59分	8時間43分	8時間37分
	計	9時間06分	9時間30分	9時間21分	9時間13分	9時間01分	8時間48分	8時間38分

表2 夜更かし

名 (%)

	全体 n=2454	性別		検定	学年別						検定 1~3年×4~6年
		男子 n=1257	女子 n=1192		1年生 n=422	2年生 n=479	3年生 n=397	4年生 n=371	5年生 n=426	6年生 n=359	
よくする	217 (8.8)	101 (8.0)	116 (9.7)		14 (3.3)	29 (6.1)	23 (5.8)	47 (12.7)	45 (10.6)	59 (16.4)	***
時々する	1050 (42.8)	532 (42.3)	515 (43.2)		156 (37.0)	164 (34.2)	170 (42.8)	170 (45.8)	218 (51.2)	172 (47.9)	
ほとんどしない	978 (39.9)	522 (41.5)	456 (38.3)		195 (46.2)	242 (50.5)	173 (43.6)	126 (34.0)	131 (30.8)	111 (30.9)	
全くしない	190 (7.7)	94 (7.5)	96 (8.1)		52 (12.3)	41 (8.6)	25 (6.3)	26 (7.0)	30 (7.0)	16 (4.5)	
無回答	19 (0.8)	8 (0.6)	9 (0.8)		5 (1.2)	3 (0.6)	6 (1.5)	2 (0.5)	2 (0.5)	1 (0.3)	

(* P < 0.05 ** P < 0.01 *** P < 0.001)

表3 朝食摂取

名 (%)

	全体 n=2454	性別		検定	学年別						検定 1~3年×4~6年
		男子 n=1257	女子 n=1192		1年生 n=422	2年生 n=479	3年生 n=397	4年生 n=371	5年生 n=426	6年生 n=359	
毎日食べる	2273 (92.6)	1171 (93.2)	1099 (92.2)		403 (95.5)	446 (93.1)	364 (91.7)	346 (93.3)	385 (90.4)	329 (91.6)	*
時々食べる	106 (4.3)	53 (4.2)	53 (4.4)		9 (2.1)	22 (4.6)	20 (5.0)	10 (2.7)	26 (6.1)	19 (5.3)	
ほとんど食べない	49 (2.0)	20 (1.6)	29 (2.4)		5 (1.2)	8 (1.7)	5 (1.3)	12 (3.2)	11 (2.6)	8 (2.2)	
全く食べない	6 (0.2)	3 (0.2)	3 (0.3)		1 (0.2)	1 (0.2)	2 (0.5)	0 (0.0)	2 (0.5)	0 (0.0)	
無回答	20 (0.8)	10 (0.8)	8 (0.7)		4 (0.9)	2 (0.4)	6 (1.5)	3 (0.8)	2 (0.5)	3 (0.8)	

(* P < 0.05 ** P < 0.01 *** P < 0.001)

表4 排便回数

名 (%)

	全 体 n=2454	性 別		検定	学 年 別						検定 1~3年×4~6年
		男 子 n=1257	女 子 n=1192		1 年 生 n=422	2 年 生 n=479	3 年 生 n=397	4 年 生 n=371	5 年 生 n=426	6 年 生 n=359	
1日に1回	1387 (56.5)	774 (61.6)	612 (51.3)	***	233 (55.2)	290 (60.5)	217 (54.7)	213 (57.4)	234 (54.9)	200 (55.7)	
1日に2回以上	130 (5.3)	81 (6.4)	49 (4.1)		25 (5.9)	22 (4.6)	24 (6.0)	20 (5.4)	16 (3.8)	23 (6.4)	
2日に1回	630 (25.7)	272 (21.6)	356 (29.9)		119 (28.2)	120 (25.1)	95 (23.9)	91 (24.5)	118 (27.7)	87 (24.2)	
3日に1回	144 (5.9)	59 (4.7)	85 (7.1)		24 (5.7)	24 (5.0)	31 (7.8)	22 (5.9)	22 (5.2)	21 (5.8)	
4日に1回	23 (0.9)	8 (0.6)	15 (1.3)		3 (0.7)	6 (1.3)	3 (0.8)	4 (1.1)	4 (0.9)	3 (0.8)	
わからない	87 (3.5)	36 (2.9)	51 (4.3)		9 (2.1)	4 (0.8)	14 (3.5)	13 (3.5)	26 (6.1)	21 (5.8)	
無 回 答	53 (2.2)	27 (2.1)	24 (2.0)		9 (2.1)	13 (2.7)	13 (3.3)	8 (2.2)	6 (1.4)	4 (1.1)	

(* P < 0.05 ** P < 0.01 *** P < 0.001)

表5 排便時刻

名 (%)

	全 体 n=2454	性 別		検定	学 年 別						検定 1~3年×4~6年
		男 子 n=1257	女 子 n=1192		1 年 生 n=422	2 年 生 n=479	3 年 生 n=397	4 年 生 n=371	5 年 生 n=426	6 年 生 n=359	
朝、家で	737 (30.0)	464 (36.9)	272 (22.8)	***	123 (29.1)	139 (29.0)	115 (29.0)	116 (31.3)	129 (30.3)	115 (32.0)	
学校で	83 (3.4)	32 (2.5)	51 (4.3)	*	18 (4.3)	31 (6.5)	14 (3.5)	7 (1.9)	8 (1.9)	5 (1.4)	***
学校から帰って	706 (28.8)	406 (32.3)	299 (25.1)	***	118 (28.0)	153 (31.9)	124 (31.2)	99 (26.7)	114 (26.8)	98 (27.3)	
夕食の後に	299 (12.2)	163 (13.0)	136 (11.4)		51 (12.1)	54 (11.3)	55 (13.9)	54 (14.6)	43 (10.1)	42 (11.7)	
決まっていない	790 (32.2)	345 (27.4)	444 (37.2)	***	146 (34.6)	147 (30.7)	128 (32.2)	126 (34.0)	136 (31.9)	107 (29.8)	
わからない	105 (4.3)	31 (2.5)	74 (6.2)	***	12 (2.8)	10 (2.1)	13 (3.3)	19 (5.1)	28 (6.6)	23 (6.4)	***
無 回 答	24 (1.0)	10 (0.8)	12 (1.0)		5 (1.2)	4 (0.8)	7 (1.8)	3 (0.8)	3 (0.7)	2 (0.6)	

(* P < 0.05 ** P < 0.01 *** P < 0.001)

表6 便性の保護者による評価

名 (%)

	全 体 n=2454	性 別		検 定	学 年 別						検 定 1~3年×4~6年
		男 子 n=1257	女 子 n=1192		1 年 生 n=422	2 年 生 n=479	3 年 生 n=397	4 年 生 n=371	5 年 生 n=426	6 年 生 n=359	
下痢	1 (0.0)	1 (0.1)	0	***	0	1 (0.2)	0	0	0	0	
やや下痢	200 (8.1)	116 (9.2)	84 (7.0)		42 (10.0)	35 (7.3)	27 (6.8)	30 (8.1)	36 (8.5)	30 (8.4)	
快便	1606 (65.4)	885 (70.4)	719 (60.3)		271 (64.2)	340 (71.0)	264 (66.5)	233 (62.8)	269 (63.1)	229 (63.8)	
やや便秘	387 (15.8)	154 (12.3)	232 (19.5)		67 (15.9)	66 (13.8)	65 (16.4)	63 (17.0)	72 (16.9)	54 (15.0)	
便秘	111 (4.5)	34 (2.7)	77 (6.5)		23 (5.5)	21 (4.4)	20 (5.0)	15 (4.0)	19 (4.5)	13 (3.6)	
下痢・便秘	12 (0.5)	6 (0.5)	6 (0.5)		2 (0.5)	4 (0.8)	5 (1.3)	0	0	1 (0.3)	
わからない	101 (4.1)	43 (3.4)	58 (4.9)		12 (2.8)	7 (1.5)	8 (2.0)	24 (6.5)	23 (5.4)	27 (7.5)	
無 回 答	36 (1.5)	18 (1.4)	16 (1.3)		5 (1.2)	5 (1.0)	8 (2.0)	6 (1.6)	7 (1.6)	5 (1.4)	

(* P < 0.05 ** P < 0.01 *** P < 0.001)

表7 排便に対する意識

名 (%)

	全 体 n=2454	性 別		検 定	学 年 別						検 定 1~3年×4~6年
		男 子 n=1257	女 子 n=1192		1 年 生 n=422	2 年 生 n=479	3 年 生 n=397	4 年 生 n=371	5 年 生 n=426	6 年 生 n=359	
神経質	49 (2.0)	33 (2.6)	16 (1.3)	*	9 (2.1)	10 (2.1)	9 (2.3)	4 (1.1)	8 (1.9)	9 (2.5)	
やや神経質	226 (9.2)	128 (10.2)	98 (8.2)		37 (8.8)	44 (9.2)	28 (7.1)	45 (12.1)	46 (10.8)	26 (7.2)	
特に問題ない	2072 (84.4)	1049 (83.5)	1020 (85.6)		354 (83.9)	406 (84.8)	349 (87.9)	305 (82.2)	353 (82.9)	305 (85.0)	
わからない	57 (2.3)	23 (1.8)	34 (2.9)		7 (1.7)	11 (2.3)	1 (0.3)	10 (2.7)	12 (2.8)	16 (4.5)	
その他	19 (0.8)	9 (0.7)	10 (0.8)		7 (1.7)	3 (0.6)	3 (0.8)	2 (0.5)	3 (0.7)	1 (0.3)	
無 回 答	31 (1.3)	15 (1.2)	14 (1.2)		8 (1.9)	5 (1.0)	7 (1.8)	5 (1.3)	4 (0.9)	2 (0.6)	

(* P < 0.05 ** P < 0.01 *** P < 0.001)

表8 帰宅時のトイレ使用状況

名 (%)

	全 体 n=2454	性 別		検 定	学 年 別						検 定 1~3年×4~6年
		男 子 n=1257	女 子 n=1192		1 年 生 n=422	2 年 生 n=479	3 年 生 n=397	4 年 生 n=371	5 年 生 n=426	6 年 生 n=359	
よくある	716 (29.2)	353 (28.1)	362 (30.4)		148 (35.1)	159 (33.2)	112 (28.2)	115 (31.0)	101 (23.7)	81 (22.6)	***
時々ある	1069 (43.6)	547 (43.5)	520 (43.6)		165 (39.1)	205 (42.8)	191 (48.1)	148 (39.9)	203 (47.7)	157 (43.7)	
めったにない	597 (24.3)	323 (25.7)	274 (23.0)		98 (23.2)	104 (21.7)	82 (20.7)	99 (26.7)	109 (25.6)	105 (29.2)	
わからない	52 (2.1)	26 (2.1)	26 (2.2)		7 (1.7)	9 (1.9)	4 (1.0)	7 (1.9)	10 (2.3)	15 (4.2)	
無 回 答	20 (0.8)	8 (0.6)	10 (0.8)		4 (0.9)	2 (0.4)	8 (2.0)	2 (0.5)	3 (0.7)	1 (0.3)	

(* P < 0.05 ** P < 0.01 *** P < 0.001)

表9 排泄の失敗時刻・場面

名 (%)

	全 体 n=2454	性 別		検 定	学 年 別						検 定 1~3年×4~6年
		男 子 n=1257	女 子 n=1192		1 年 生 n=422	2 年 生 n=479	3 年 生 n=397	4 年 生 n=371	5 年 生 n=426	6 年 生 n=359	
下校中	142 (58.7)	72 (62.6)	70 (55.1)		56 (57.7)	41 (59.4)	24 (68.6)	9 (52.9)	2 (25.0)	10 (62.5)	
授業中	27 (11.2)	12 (10.4)	15 (11.8)		16 (16.5)	6 (8.7)	3 (8.6)	0	0	2 (12.5)	
休み時間・昼休み	24 (9.9)	10 (8.7)	14 (11.0)		16 (16.5)	2 (2.9)	4 (11.4)	1 (5.9)	1 (12.5)	0	
登校中	10 (4.1)	8 (7.0)	2 (1.6)		5 (5.2)	2 (2.9)	1 (2.9)	0	1 (12.5)	1 (6.3)	
行事の時	4 (1.7)	2 (0.2)	2 (1.6)		2 (2.1)	1 (1.4)	1 (2.9)	0	0	0	
その他	46 (19.0)	15 (13.0)	31 (24.4)	*	17 (17.5)	17 (24.6)	2 (5.7)	7 (41.2)	2 (25.0)	1 (6.3)	
無回答	16 (6.6)	8 (7.0)	8 (6.3)		3 (3.1)	2 (2.9)	4 (11.4)	2 (11.8)	2 (25.0)	3 (18.8)	

(* P < 0.05 ** P < 0.01 *** P < 0.001)

表 10 学校のトイレの印象

名 (%)

	全 体 n=2454	性 別		検 定	学 年 別						検 定 1~3年×4~6年
		男 子 n=1257	女 子 n=1192		1 年 生 n=422	2 年 生 n=479	3 年 生 n=397	4 年 生 n=371	5 年 生 n=426	6 年 生 n=359	
暗 い	950 (50.6)	464 (49.3)	486 (52.0)		141 (50.0)	192 (54.7)	170 (55.6)	145 (49.0)	163 (46.7)	139 (47.6)	*
臭 い	670 (35.7)	323 (34.3)	347 (37.2)		92 (32.6)	111 (31.6)	103 (33.7)	133 (44.9)	130 (37.2)	101 (34.6)	**
せまい	625 (33.3)	311 (33.0)	314 (33.6)		83 (29.4)	113 (32.2)	97 (31.7)	92 (31.1)	123 (35.2)	117 (40.1)	
落ちつかない	562 (30.0)	305 (32.4)	257 (27.5)	*	73 (25.9)	90 (25.6)	88 (28.8)	83 (28.0)	131 (37.5)	97 (33.2)	**
きたない	545 (29.1)	265 (28.1)	280 (30.0)		80 (28.4)	96 (27.4)	85 (27.8)	103 (34.8)	109 (31.2)	72 (24.7)	
水の流れが悪い	238 (12.7)	97 (10.3)	141 (15.1)	**	30 (10.6)	37 (10.5)	42 (13.7)	42 (14.2)	44 (12.6)	43 (14.7)	
ドアや鍵の破損	235 (12.5)	100 (10.6)	135 (14.5)	*	30 (10.6)	46 (13.1)	37 (12.1)	44 (14.9)	37 (10.6)	41 (14.0)	
子どもにとって 便器サイズ小さい	64 (3.4)	28 (3.0)	36 (3.9)		4 (1.4)	6 (1.7)	12 (3.9)	10 (3.4)	10 (2.9)	22 (7.5)	*
そ の 他	211 (11.2)	108 (11.5)	103 (11.0)		39 (13.8)	46 (13.1)	35 (11.4)	35 (11.8)	36 (10.3)	20 (6.8)	*
無 回 答	140 (7.5)	74 (7.9)	66 (7.1)		24 (8.5)	24 (6.8)	26 (8.5)	17 (5.7)	27 (7.7)	22 (7.5)	

(* P < 0.05 ** P < 0.01 *** P < 0.001)

第 4 章

旭川市の小学校における 排泄の失敗事例に関する調査

第4章 旭川市の小学校における排泄の失敗事例に関する調査

芝 木 美沙子（北海道教育大学教育学部旭川校）
松 浦 和 代（旭川医科大学医学部看護学科）
安 部 奈 生（北海道教育大学附属旭川小学校）
笹 嶋 由 美（北海道教育大学教育学部旭川校）

I. はじめに

近年、健康への意識が高まる中で、食生活と排泄に関することや乳幼児期のトイレトレーニングのあり方などについては種々の調査研究がなされている^{1) 2)}。また、最近では、トイレと排泄の関係に着目した研究もあり、学校のトイレの問題点も指摘されている^{3) 4)}。しかし、排泄が自立したあとの、排泄の失敗に関する調査研究は見あたらない。そこで、我々は、集団生活をしている学校での失敗の原因と問題点、その時の対応などについて知ることを目的に小学校における排泄の失敗事例に関する調査を行ったので、その結果を報告する。

II. 調査対象及び方法

旭川市内の児童数300名以上の学校37校とした。学校長に対して文書で調査を依頼し、その後電話によって同意の有無を確認することとした。

1. 聞き取り調査

児童が排泄を失敗したときの対応や着替えなどについて、養護教諭を対象に聞き取り調査を、平成11年5月～7月に行った。

2. 事例調査

排泄の失敗事例に関して、調査用紙を養護教諭に郵送し、具体的事例について調査用紙に記入してもらい、後日回収した。期間は平成11年4月の始業式～6月末日までとした。

III. 結果

聞き取り調査に関して協力が得られたのは31校で、そのうち、事例調査に協力が得られたのは28校であった。

1. 学校について

学校規模は、「300～400人」9校（29.0%）、「400～500人」9校（29.0%）、「500～600人」8校（25.8%）、「600人以上」5校（16.1%）であり、平均496.7人であった。養護教諭の経験年数は、12～36年で「25年以上」14校（45.2%）、「20～25年」13校（41.9%）、「20年以下」4校（12.9%）であり、平均24.1年であった。

小学校の養護教諭としての経験年数は、1～30年で30校が10年以上で、1校だけが1年であった。

2. 平成10年度の失敗事例について

平成10年度、排泄の失敗事例があったかについては、「あり」が23校、「なし」が1校で、転勤などのため把握できなかったものが7校あった。失敗の内訳は、排尿の失敗が20校であり、排便の失敗が12校であった。

平成10年度の失敗事例の人数及び件数は、排尿が186人、平均7.8人で、件数は240件、平均10.0件であった。排便が30人、平均1.3人で、件数は47件、平均2.0件であった。

3. 具体的失敗事例について

調査を行った28校のうち1校は失敗事例がなかったが、他の27校で113件の失敗事例があった。少ない学校は1件であったが、多い学校では19件であり、平均4.0件であった。

排尿は85人で87件、1校平均3.0人、3.1件であった。排便は20人で23件、1校平均0.7人、0.8件であり、不明3件であった。

1) 対象者について

学年別では、「1年生」が78件(69.0%)と最も多く、次いで「2年生」18件(15.9%)、「3年生」7件(6.2%)と学年が進むにつれて少なくなっている。しかし、「6年生」でも3件の失敗事例があった(表1)。

男女別では、全体としては「男子」の方が60件と多く、「女子」は53件であった。しかし排尿は「男子」41件に対し、「女子」46件、排便は「女子」6件に対し「男子」17件であり、排尿の失敗事例では男女差がなかったが、排便の失敗事例は男子に多かった。

2) 発生時期

発生した月では、「5月」が58件(51.3%)と最も多く、「6月」30件(26.5%)、「4月」25件(22.1%)であった。排泄別では、排尿は「5月」が41件(47.1%)と最も多く、「6月」25件(28.7%)、「4月」21件(24.1%)であった。排便も「5月」が15件(65.2%)と最も多く、「4月」と「6月」が各4件(17.4%)であった。

表1 排泄の失敗事例

件(%)

	全 体			排 尿			排 便		
	男子 n = 60	女子 n = 53	合計 n = 113	男子 n = 41	女子 n = 46	合計 n = 87	男子 n = 17	女子 n = 6	合計 n = 23
1年生	37 (61.7)	41 (77.4)	78 (69.0)	28 (68.3)	34 (73.9)	62 (71.3)	8 (47.1)	6 (100.0)	14 (60.9)
2年生	14 (23.3)	4 (7.5)	18 (15.9)	7 (17.1)	4 (8.7)	11 (12.6)	6 (35.3)	0	6 (26.1)
3年生	4 (6.7)	3 (5.7)	7 (6.2)	3 (7.3)	3 (6.5)	6 (6.9)	1 (5.9)	0	1 (4.3)
4年生	2 (3.3)	2 (3.8)	4 (3.5)	1 (2.4)	2 (4.3)	3 (3.4)	1 (5.9)	0	1 (4.3)
5年生	1 (1.7)	2 (3.8)	3 (2.7)	1 (2.4)	2 (4.3)	3 (3.4)	0	0	0
6年生	2 (3.3)	1 (1.9)	3 (2.7)	1 (2.4)	1 (2.2)	2 (2.3)	1 (5.9)	0	1 (4.3)

発生した曜日では、「金曜日」が26件(23.0%)と最も多く、次いで「水曜日」24件(21.2%)、「火曜日」21件(18.6%)、「木曜日」20件(17.7%)、「月曜日」13件(11.5%)、「土曜日」6件(5.3%)、「日曜日」3件(2.7%)であった。排泄別では、排尿は「水曜日」と「金曜日」が各20件(23.0%)と最も多く、次いで「木曜日」16件(18.4%)、「火曜日」15件(17.2%)、「月曜日」10件(11.5%)、「土曜日」4件(4.6%)、「日曜日」2件(2.3%)であった。排便は「金曜日」が5件(21.7%)と最も多く、次いで「火曜日」、「水曜日」、「木曜日」が各4件(17.4%)、「月曜日」3件(13.0%)、「土曜日」2件(8.7%)、「日曜日」1件(4.3%)であった。

3) 時 間 帯

排泄を失敗した時間帯は、「授業中」が53件(46.9%)と最も多く、次いで「休み時間」16件(14.2%)、「行事」13件(11.5%)などであった。授業中では、「3時間目」が17件と最も多く、次いで「4時間目」13件、「2時間目」10件、「1時間目」7件、「5時間目」6件であった。また、教科は、「算数」が9件と最も多く、次いで「国語」6件、「図工」と「体育」が各5件、「生活科」2件、「音楽」1件で、残り2件は不明であった。排泄別では、排尿は「授業中」が44件(50.6%)と最も多く、次いで「休み時間」12件(13.8%)、「行事」11件(12.6%)などであった。授業中では、「3時間目」が16件と最も多く、次いで「4時間目」11件、「2時間目」8件、「5時間目」6件、「1時間目」3件であった。排便では、「授業中」が7件(30.4%)と最も多く、次いで「休み時間」4件(17.4%)、「給食」3件(13.0%)などであった。授業中では、「1時間目」が3件と最も多く、次いで「4時間目」2件、「2時間目」と「3時間目」が各1件であった(表2)。

表2 排泄の失敗した時間帯

件(%)

	全体 n = 113	排 泄 別		学 年 別						性 別	
		排尿 n = 87	排便 n = 23	1年生 n = 78	2年生 n = 18	3年生 n = 7	4年生 n = 4	5年生 n = 3	6年生 n = 3	男子 n = 60	女子 n = 53
授業中	53 (46.9)	44 (50.6)	7 (30.4)	42 (53.8)	3 (16.7)	3 (42.9)	2 (50.0)	2 (66.7)	1 (33.3)	29 (48.3)	24 (45.3)
休み時間	16 (14.2)	12 (13.8)	4 (17.4)	8 (10.3)	6 (33.3)	0	1 (25.0)	0	1 (33.3)	9 (15.0)	7 (13.2)
行事	13 (11.5)	11 (12.6)	2 (8.7)	6 (7.7)	3 (16.7)	2 (28.6)	0	1 (33.3)	1 (33.3)	8 (13.3)	5 (9.4)
下校時	7 (6.2)	5 (5.7)	2 (8.7)	6 (7.7)	1 (5.6)	0	0	0	0	1 (1.7)	6 (11.3)
給食	7 (6.2)	4 (4.6)	3 (13.0)	5 (6.4)	0 (14.3)	1 (25.0)	1	0	0	3 (5.0)	4 (7.5)
その他	13 (11.5)	8 (9.2)	3 (13.0)	7 (9.0)	5 (27.8)	1 (14.3)	0	0	0	8 (13.3)	5 (9.4)

4) 場 所

排泄を失敗した場所は、「校舎内」が89件(78.8%)、「校舎外」が20件(17.7%)であり、その中でも「教室」が54件(47.8%)と最も多く、次いで「トイレ」19件(16.8%)、「校地外」12件(10.6%)などであった。排尿では「校舎内」が71件(81.6%)、「校舎外」が13件(14.9%)であり、その中でも「教室」が46件(52.9%)と最も多く、次いで「トイレ」16件(18.4%)、「校地外」8件(9.2%)などであった。排便では、「校舎内」が16件(69.6%)、「校舎外」が6件(26.1%)であり、その中でも「教室」が6件(26.1%)と最も多く、次いで「校地外」4件(17.4%)、「トイレ」3件(13.0%)などであった(表3)。

表3 排泄の失敗した場所

件(%)

		全 体 n = 113	排 泄 別		学 年 別						性 別	
			排尿 n = 87	排便 n = 23	1年生 n = 78	2年生 n = 18	3年生 n = 7	4年生 n = 4	5年生 n = 3	6年生 n = 3	男子 n = 60	女子 n = 53
校 舎 内	教室	54 (47.8)	46 (52.9)	6 (26.1)	41 (52.6)	6 (33.3)	2 (28.6)	2 (50.0)	2 (66.7)	1 (33.3)	31 (51.7)	23 (43.4)
	トイレ	19 (16.8)	16 (18.4)	3 (13.0)	12 (15.4)	4 (22.2)	2 (28.6)	0	0	1 (33.3)	8 (13.3)	11 (20.8)
	体育館	6 (5.3)	4 (4.6)	2 (8.7)	5 (6.4)	1 (5.6)	0	0	0	0	3 (5.0)	3 (5.7)
	その他	10 (8.8)	5 (5.7)	5 (21.7)	6 (7.7)	4 (22.2)	0	0	0	0	5 (8.3)	5 (9.4)
	計	89 (78.8)	71 (81.6)	16 (69.6)	64 (82.1)	15 (83.3)	4 (57.1)	2 (50.0)	2 (66.7)	2 (66.7)	47 (78.3)	42 (79.2)
校 舎 外	校地外	12 (10.6)	8 (9.2)	4 (17.4)	7 (9.0)	2 (11.1)	2 (28.6)	0	0	1 (33.3)	6 (10.0)	6 (11.3)
	グラウンド ・校庭	8 (7.1)	5 (5.7)	2 (8.7)	6 (7.7)	1 (5.6)	0	0	1 (33.3)	0	5 (8.3)	3 (5.7)
	計	20 (17.7)	13 (14.9)	6 (26.1)	13 (16.7)	3 (16.7)	2 (28.6)	0	1 (33.3)	1 (33.3)	11 (14.6)	9 (17.0)

5) 理 由

失敗した理由としては、「間に合わなかった」22件(19.5%)、「何かに夢中になっていた」16.8% (19件)、「トイレに立ちにくい、言い出しにくい状況だった」19件(16.8%)、「おなかをこわしていた」14件(12.4%)、「トイレで排泄したが、洋服を汚してしまった」「トイレが近くになかった」「我慢しすぎた」「遺糞症、遺尿症などの疾病またはその疑い」「緊張など精神的な理由が考えられるもの」が各4件などであった。排泄別では、排尿は、「間に合わなかった」20件(23.0%)、「何かに夢中になっていた」19件(21.8%)、「トイレで排尿したが洋服を汚してしまった」「トイレが近くになかった」「我慢しすぎた」が各4件、「緊張など精神的な理由が考えられるもの」3件などであった。排便は、「おなかをこわしていた」が14件(60.9%)と最も多く、その他「トイレに立ちにくい、言い出しにくい状況だった」「緊張など精神的な理由が考えられるもの」などがあった。

6) 来室時の状況

「担任と来室した」が70件(61.9%)と最も多く、次いで「ひとりで来室」25件(22.1%)、「担任が着替えを取りに来た」6件(5.3%)、「他児の知らせで現場に行った」「担任以外の教師と来室」「担任以外の教師の知らせで現場に行った」が各2件(1.8%)、その他が6件であった。排泄別では、排尿は、「担任と来室した」が56件(64.4%)と最も多く、次いで「ひとりで来室」20件(23.0%)、「担任が着替えを取りに来た」3件(3.4%)、「他児の知らせで現場に行った」「担任以外の教師と来室」が各2件(2.3%)、「その他」が4件であった。排便は、「担任と来室した」が12件(52.2%)と最も多く、次いで「ひとりで来室」5件(21.7%)、「担任が着替えを取りに来た」3件(13.0%)、「担任以外の教師の知らせで現場に行った」2件(8.7%)、「その他」が1件であった。

その時の様子では、「ふつう」が83件(73.5%)、「落ち込んでいた」14件(12.4%)、「泣いていた」9件(8.0%)、「その他」7件であった。排泄別では、排尿は、「ふつう」が64件(73.6%)、「落ち込んでいた」11件(12.6%)、「泣いていた」8件(9.2%)、「その他」4件であった。排便は、「ふつう」が16件(69.6%)、「落ち込んでいた」3件(13.0%)、「泣いていた」1件(4.3%)、「その他」2件であった。

4. 失敗時の対応について

1) 体の汚れに対して

児童の身体の汚れに対しては、排尿の場合、「そのまま」13校(41.9%)、「タオルなどで拭く」12校(38.7%)、「汚れ具合によっては拭く」5校(16.1%)であった。排便の場合、「タオルなどで拭く」が25校(80.6%)とほとんどであった。その他「洗う」「保護者に連絡し帰す」「親に対応してもらう」「タオルなどで拭くが、その後帰宅させ、入浴させてもらう」がそれぞれ1校あった。また、このことに関連し、シャワーの設置を望む学校が18校(58.1%)あった。

2) 着替えの用意

児童の着替えは全ての学校で用意していた。「以前からあったものだけでは不足し、さらに用意した」15校(48.4%)、「以前からあったものをそのまま使用している」13校(41.9%)、「学校に用意されてなく、新たに用意した」3校(9.7%)であった。どのような形で用意したかでは、「新たに校費などで購入した」8校、「養護教諭自身や他の教師・親などからの寄贈」6校、「購入と寄贈」3校であった。

貸した衣類の返却については、下着以外は、全ての学校で「洗って返却してもらう」であった。下着の返却については、「洗って返却してもらう」26校(83.9%)、「新品を貸し、新品を購入して返却してもらう」5校(16.1%)であった。

3) 汚れ物の取り扱い

汚れた衣類の処理では、排尿の場合、「そのまま持たせる」26校(83.9%)、「時と場合による」3校(9.7%)、「洗って持たせる」2校(6.5%)であった。排便の場合、「そのまま持たせる」10校(32.3%)、「洗って持たせる」10校(32.3%)、「時と場合による」4校(12.9%)、「汚れがひどいときは処分する」2校(6.5%)、「その他」5校(16.1%)であった。

4) 失敗時の配慮、困難点

特に配慮していること、困っていることを聞いたところ、特に配慮していることとしては、「他児童に気づかれないようにするなど、他児童に対する配慮」13校、「失敗した児童への精神的な援助」10校、「担任と連携をとる」6校等があげられていた。

困っていることとしては、「着替えの不足」や「洗ってあるとはいえ、他人が使用した下着を使用させることへの抵抗感」、特に排便の場合、「処置する場所の問題」「身体をきれいにすることも、学校では限界がある」等があげられていた。

IV. 考察

1. 具体的失敗事例について

調査期間の約3カ月では、失敗事例がない学校もあったが、27校で平均40件の失敗事例があり、1年間で考えると、相当数の失敗事例があるものと思われる。入学直後の1年生が約70%と多かったが、高学年でも失敗することはあり、失敗事例は全学年でみられた。

男女別では、排尿の失敗事例は男女差がなかったが、排便の失敗事例は男子に多かった。これは、排便の失敗事例の原因の多くは下痢によるものであり、下痢になることは女子よりも男子に多い⁴⁾ ことが関係しているものと思われた。

発生時期は、この3カ月では、5月が多かったが、これは、緊張が解ける時期ということもあると思われるが、遠足・運動会など学校行事が集中していることも原因として考えられた。

発生時間では、学校で多くの時間を過ごす授業中が最も多く、特に排尿では、3時間目が最も多かった。これは2時間目と3時間目の間に20～25分ぐらいの長い休み時間を設定し、遊びの時間としていることが多いが、ぎりぎりまで遊んでしまい、トイレに行く時間がない(トイレに行くことも忘れ遊んでしまう)ことが原因と考えられた。排便では、1時間目が多かったが、これは排便反射との関係が考えられた。

排泄を失敗した場所では、教室が最も多かったが、次いでトイレが多く、トイレまで行きながら間に合わなかったことや洋服の下げ方が悪く、洋服を汚してしまったものがあった。校地外では、登校途中・下校途中で間に合わなかったものもあるが、遠足時、現地のトイレ不足が原因と考えられるものがあった。遠足など学校外での活動時には、トイレの場所・数などについては十分注意して、実地踏査を行う必要があると思われた。

失敗した理由では、排泄行動が確立されておらず、未熟な面が考えられるもの、遺糞症や遺尿症などの疾病によるものまたはその疑いがあるものもあった。しかし、低学年では、入学後、間もないために言い出せなかったもの、自由にトイレにいける状況の中、何かに夢中になっていてその場で失敗してしまう、または、あわててトイレに向かうが間に合わなかったものがあった。そして、高学年では、授業中や行事の途中でトイレに行きにくかったりしたことが原因として考えられた。

2. 失敗時の対応について

児童の汚れたからだの処置では、排尿の場合は「そのまま」というものが13校と多く、「タオルなどで拭く」、「汚れ具合によっては拭く」があわせて17校であった。排便の場合は、「タオルなどで拭く」が25校と多かった。どちらも拭くことが多いが、その場合保健室には給湯設備がないことも多く、水で拭かざるを得ない学校があった。また、下痢の場合、タオルで拭い

ただけではきれいにできず、自宅に戻って入浴をさせてもらったりしている学校もあった。しかし、「家族と連絡が取れず、冬季であったが、お湯もない状況で、トイレで水で流さざるを得ず、児童にも申し訳なく、自分自身もつらかった」としている養護教諭もいた。現在、保健室には給湯設備がないことも多いが、このような場合だけでなく、罨法や傷口をきれいに洗うためなど、保健室ではお湯が必要とされる場面は多く、給湯設備は早期に設置されることが望まれる。また、シャワー設備も望まれている設備であった。このように身体が汚れたときはもちろんだが、アトピー性皮膚炎などの児童では、汗を流すことが皮膚炎を悪化させないために必要なことであり、シャワーの設置はその意味からも望まれることである⁵⁾。

児童の着替えは全ての学校で用意していたが、小学校の場合、いろいろなサイズのものを用意しなければならず、用意はしてあるが、サイズが合わず、合わないサイズのものを着せざるを得なかったり、親に持ってきてもらったりすることがあった。また、たびたび失敗する児童では、保健室に着替えを用意させている場合もあった。予算などの関係で難しい面もあると思われるが、不要になった衣類を寄贈してもらおう等工夫して、考えられる全サイズを用意しておくことが望まれる。

貸した衣類の返却については、下着以外は、全ての学校で「洗って返却してもらおう」であった。下着についても「洗って返却してもらおう」学校が26校と多かったが、新品を貸すので、「新品を購入して返してもらおう」学校が5校あった。下着を洗って返却してもらっている学校では、他人が使用した下着を使用させることへの抵抗感を述べる養護教諭もいたが、保護者に新品を購入してもらうことは、保護者に負担を強いるため難しいという養護教諭も多かった。また、新品を購入して返却してもらっている5校でも、何度かお願いしても返却されない場合があり、校費で追加することを考えなければならないとしていた。

汚れた衣類の処理では、排尿の場合「そのまま持たせる」学校が26校と多かったが、排便の場合、「そのまま持たせる」学校と「洗って持たせる」学校とが同じ10校であった。臭気の関係もあり、洗って持たせたいと思っても、洗濯などをする設備がない学校が多く、洗濯機や汚物処理ができる設備などを望む声もあった。また、持たせる場合、帰りに保健室に取りに来させるなど配慮している学校があった。

V. おわりに

排泄を失敗することは、本人にとって、とても自尊心が傷つくことであり、周囲の児童に気づかれないように対処することは、とても重要なことと思われる。多くの場合、その児童に最初に気づき、対処するのは担任であり、担任が果たす役割は大きく、今回の調査でも、担任がすばやく適切に対処したことで、他の児童に気づかれずにすんだと思われる例があった。また、気づかれた場合も、担任の態度や指導は重要であり、いじめやからかいの対象になることがないようにする必要がある。

また、失敗事例ではないが、排泄にかかわる問題点として、「洋式トイレでなければ排泄できない」「排便は、学校のトイレでは出来ない」「みんながいる休み時間中には排便が出来ず、授業時間中に保健室に腹痛を訴えて来室し、トイレに行く」「排便の後、自分で拭けない」などがあった。施設設備の面で、改善が望まれることもあるが、家庭でのしつけの問題や排泄行動がからかいやいじめの対象になっていることも原因と考えられた。人間として、自然な排泄行動がいじめやからかいの対象になることがないように指導することが望まれる。

文 献

- 1) 加藤鈞・室屋敬子. 健康・食生活実態調査についての一考察Ⅱ—食物摂取状況・排便状況・肥満状況—. 一宮女子短期大学紀要 1992; 31: 51-61.
- 2) 金子龍太郎. 乳児院入所児の排尿自立過程上の個人差. 小児保健研究 1990; 49: 511-515.
- 3) 國本正雄他. 小学生の便通とトイレに関する意識調査. 日本医事新報 1996; 3781: 49-51.
- 4) 松浦和代・國本正雄. 中学生の便通と学校トイレに関する意識調査. 小児保健研究 1999; 58: 599-602
- 5) 笹嶋由美・芝木美沙子・飯塚一. 学校生活のアトピー性皮膚炎の児童・生徒におよぼす影響. 小児保健研究 1999; 58: 450-457

学校トイレに関するアンケート用紙

お子さんの現状状況と、学校トイレに関するお悩みの状況について、お答えください。

保護者からのご回答によって適切な支援が、個人情報を基からご提供いたします。結果は、子ども本人の状況を基から、学校トイレの改善施策の参考にさせていただきます。

調査、実施をご希望「是り」下記に記入し、**資料** 中に入れてください。

資 料

1. お子さんの

(1) 学年 () (2) 性別 () (3) 学年 ()

2. お子さんはいじめ、いじめた経験に該当しますか？

○ 是 () ○ 非 () ○ 不明 ()
理由 ()

3. お子さんは平日、トイレ、何時に使用しますか？

○ 午前 () ○ 午後 ()
理由 ()

4. お子さんは平日、どのくらい頻りに使いますか？

○ 頻りに () ○ 頻りに ()
理由 ()

5. お子さんご、不安を感じることがありますか？

- 是 ()
- 非 ()
- ほとんどない ()
- 全くない ()
- 不明 ()

6. お子さんご、対策をとりませんか？

- 是 ()
- 非 ()
- ほとんどない ()
- 全くない ()
- 不明 ()

学校トイレに関するアンケート用紙

お子さんの健康状態と、学校トイレに関するあなたのお考えについて、お答えください。

皆様からのご回答は全て統計的に扱われ、個人が特定されることはありません。結果は、子どもたちの健康な排泄を考え、学校トイレの環境衛生を改善するために役立てられます。

調査の趣旨をご理解の上、ご協力下さいますようお願い申し上げます。

1. お子さんは？
（ ）年生 （ 男子 ・ 女子 ）

2. お子さんは平日、だいたい何時に起きますか？
a. （ ）時（ ）分
b. わからない

3. お子さんは平日、だいたい何時に登校しますか？
a. （ ）時（ ）分
b. わからない

4. お子さんは平日、だいたい何時に寝ますか？
a. （ ）時（ ）分
b. わからない

5. お子さんは、夜ふかしをすることがありますか？
a. よくする
b. 時々する
c. ほとんどしない
d. 全くしない
e. わからない

6. お子さんは、朝食をとりますか？
a. 毎日食べる
b. 時々食べる
c. ほとんど食べない
d. 全く食べない
e. わからない

7. お子さんは、毎日、排便をしますか？
- a. 毎日
 - b. 1日に2回以上
 - c. 2日に1回
 - d. 3日に1回
 - e. 4日に1回以下
 - f. わからない
8. お子さんは、いつも何時ごろ、排便をしますか？
- a. 朝、家で
 - b. 学校で
 - c. 学校から帰ってから
 - d. 夕食の後に
 - e. きまっていない
 - f. わからない
9. お子さんの便通は？
- a. 下痢
 - b. どちらかといえば下痢しやすい
 - c. 快便
 - d. どちらかといえば便秘しやすい
 - e. 便秘しやすい
 - f. 下痢と便秘をくりかえす
 - g. わからない
10. お子さんは排便に対して；
- a. 神経質
 - b. やや神経質
 - c. 特に問題ない
 - d. わからない
 - e. その他（ ）
11. お子さんは、排便や排尿に関連する病気にかかったことがありますか？
- a. ない
 - b. ある（さしつかえなければ具体的に； ）
12. お子さんが帰宅と同時にトイレに直行することは？
- a. よくある
 - b. 時々ある
 - c. めったにない
 - d. わからない

13-1) この1年間に、お子さんが学校や登下校時に排泄を失敗した経験がありますか？
はい、失敗したことがある () 回

13-2) 「失敗したことがある」と答えた方にお聞きします。それは、どのような時刻や
場面でしたか？

あてはまる項目すべてに○をつけて下さい。

- a. 朝、登校中に
- b. 授業中に
- c. 休み時間・昼休みに
- d. 下校中に
- e. 行事の日に
- f. その他 ()

14-1) あなたは、お子さんの学校のトイレを使用したことがありますか？

- a. はい
- b. いいえ

14-2) 「はい」と答えた方にお聞きします。トイレの印象はいかがでしたか？ あては
まる項目すべてに○をつけて下さい。

- a. くさい
- b. きたない
- c. 暗い
- d. 落ちつかない
- e. せまい
- f. 子どもにとって便器のサイズが小さい
- g. 水の流れが悪い
- h. ドアや鍵がこわれている
- i. その他 ()

15. 排泄に関連した出来事がきっかけとなって、お子さんが学校に行くのを嫌がったこ
とがありますか？

- a. いいえ
- b. はい (さしつかえなければ具体的に；)

16. 学校トイレの改善に具体的なご意見やご提案がありましたら、お書き下さい。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

あなたの尿 (オシッコ) や便 (ウンチ) について、おしえてください。

質問をよみ、あてはまるところに○をつけてください。

むずかしいところは、お父さんやお母さんといっしょに、相談しながら答えをか
んがえてください。

1. あなたの家のトイレは？

- ア. 和式
- イ. 洋式
- ウ. 両方

2. あなたは毎日ウンチをしますか？

- ア. 毎日
- イ. 1日に2回以上
- ウ. 2日に1回
- エ. 3日に1回
- オ. 4日に1回以下

3. いつも何時ごろ、ウンチがでますか？

- ア. あさ、家で
- イ. 学校で
- ウ. 学校から帰ってから
- エ. よるごはんのあとで
- オ. きまっていない

4. あなたのウンチのかたさは？

- ア. かため
- イ. ふつう (バナナのようにでる)
- ウ. やわらかめ
- エ. きまっていない

5. ウンチがでるときに、おしりが、いたくなることがありますか？

- ア. いつもいたい
- イ. ときどきいたい
- ウ. いたくない

6. あなたは？

- ア. 下痢げりしやすい
- イ. どちらかといえば下痢げりしやすい
- ウ. 特に問題ない (快便かいべん)
- エ. どちらかといえば便秘べんぴしやすい
- オ. 便秘べんぴしやすい
- カ. 下痢げりと便秘べんぴをくりかえす

7. あなたは、学校がっこうでウンチをしますか？

- ア. する
- イ. ときどきする
- ウ. あまりしない
- エ. しない

8-1) あなたは学校がっこうで、ウンチを我慢がまんすることがありますか？

- ア. ある
- イ. ときどきある
- ウ. ない

8-2) 「ある・ときどきある」人ひとは答こたえてください。

それはどうしてですか？ あてはまる「りゆう」すべてに○をつけてください。

- ア. トイレがくさい・きたない
- イ. くらい
- ウ. こわいかんじがする・おそろしいかんじがする
- エ. 休み時間やす じかん みじかが短い
- オ. 落ちつかない
- カ. はずかしい
- キ. ひやかされそう・いじめられそう
- ク. 水みずのながれわるが悪い
- ケ. ドアや鍵かぎがこわれている
- コ. 人ひとが多いおお
- サ. あそびでいそがしい
- シ. 学校がっこうのトイレではしたくない
- ス. そのほか ()

9. 学校がっこうでウンチをしたくなかったときに、あなたつかが使う便器べんきは？

- ア. 和式わしき
- イ. 洋式ようしき
- ウ. きめていない

10. あなたは1日何回にちなんかいぐらいオシッコをしますか？
() 回かい

11-1) 学校がっこうでは、1日何回にちなんかいぐらいオシッコをしますか？
() 回かい

11-2) 学校がっこうでは、だいたい、いつごろオシッコをしますか？
あてはまるところすべてに○をつけてください。

- ア. あさ、1時間目じかんめのまえ前に
- イ. 1時間目じかんめと2時間目じかんめのあいだ
- ウ. 2時間目じかんめと3時間目じかんめのあいだ
- エ. 3時間目じかんめと4時間目じかんめのあいだ
- オ. ひるやすみ
- カ. 5時間目じかんめと6時間目じかんめのあいだ
- キ. 学校がっこうからかえるまえ前

12-1) あなたは、学校がっこうでオシッコをがまんすることがありますか？

- ア. ある
- イ. ときどきある
- ウ. ない

12-2) 「ある・ときどきある」のひと人はこた答えてください。

それはどうしてですか？ あてはまる「りゆう」すべてに○をつけてください。

- ア. トイレがくさい・きたない
- イ. くらい
- ウ. こわいかんじがする・おそろしいかんじがする
- エ. 休み時間やすみが短かいみじ
- オ. 落ちつかないお
- カ. はずかしい
- キ. ひやかされそう・いじめられそう
- ク. 水のながれみずが悪いわる
- ケ. ドアや鍵かぎがこわれている
- コ. 人ひとが多いおほ
- サ. あそびでいそがしい
- シ. 学校がっこうのトイレではしたくない
- ス. そのほか ()

13. 学校のトイレでのマナーについて、あなたが気をつけていることはなんですか。
あてはまるところすべてに○をつけてください。
- ア. つかった後は、きちんと水をながす
 - イ. 便器をよごしたら、トイレットペーパーでさっとふく
 - ウ. トイレットペーパーをちらかさない
 - エ. トイレをでるとき、よごれていないか、ながれているかをたしかめる
 - オ. トイレをつかっていている人をひやかしたり、からかったりしない
 - カ. そのほか ()

ここからは、女子だけ答えてください。

14. 女子に 質問します。
あなたは、学校でオシッコをするときは、どちらの便器をつかいますか？
- ア. 和式
 - イ. 洋式
 - ウ. きめていない
15. 女子に 質問します。
あなたは、学校でウンチをするときは、どちらの便器をつかいますか？
- ア. 和式
 - イ. 洋式
 - ウ. きめていない

質問はこれでおわりです。ご協力ありがとうございました。